

歯周病の基礎知識と歯周組織再生

歯周病は口腔の常在菌が歯周組織に付着して生じる慢性炎症性疾患で、不可逆的な歯周組織破壊を生じます。細菌性の因子だけではなく、生体側の反応の違いも、病態に大きく関係します。糖尿病や喫煙などはその典型例で、複数の要因が歯周病の進行に強く作用します。

歯周病の治療は、徹底した原因除去療法が基本です。また、この不可逆的变化について、少しでも元の状態に回復できるようにするための治療法として、再生療法についての研究や臨床的な試みが積み重ねられてきました。

近年開発された、トラフェルミン (rhFGF-2) を主剤とした歯周組織再生剤「リグロス[®]」は、世界初の歯周組織再生医薬品として注目を集めています。

今回のお話では、歯周病に関する基礎知識と再生療法を中心とした歯周病治療の基本的考え方を説明していきたいと考えています。(講師より)

【講師】林 潤一郎 先生 (愛知学院大学歯学部 歯周病学講座 講師)

【日時】12月13日 (木) 19時～20時30分

(講演会冒頭に、科研製薬から「リグロス[®]」の製品情報提供がございます)

【会場】三島商工会議所 1階 TMOホール (三島市一番町 2-29)

【対象】歯科医師、医師等

【参加費】無料

【共催】静岡県保険医協会・科研製薬株式会社

申込書 FAX でご返送ください 054-281-7473

◇12/13「歯周病の基礎知識と歯周組織再生」に参加する。() 人

医療機関名 _____

会 員 名 _____

市・町 _____